

春期講習確認テスト講評(中1生)

●英語●

・中1英語(1EJS)

今回のテストは盛りだくさんの内容で、難しく感じた人もいます。今回の出題内容は学習範囲で言うと、1学期の期末テストあたりまでの内容に該当します。まだ英語の基本的なルールを学び始めたばかりという人が多い段階ですので、現時点で思うように点数が取れていなくてもあまり心配しすぎる必要はありません。これから7月頃までに今回のテストの内容がしっかり解けるようになることを目標に、復習をしましょう。

(1)は母音から始まる単語にaを付けるという点だけでなく、可算名詞と不可算名詞の区別をしっかりとつけておきましょう。

(2)(3)はbe動詞と一般動詞、どちらを使うか明確に区別できるようにすることと、主語によって変わる動詞の形を正確に覚えておきましょう。

(4)のような読解問題は春期講習中では学習をしませんでしたが、解くために必要となる文法事項は春期講習で学習したもののばかりです。解けなかったところは、解答を確認して、もう一度復習しておきましょう。

(5)は英作文の問題でした。三人称単数現在のsなど難易度の高い問題も含まれていました。単語や語順を正しく書くことはもちろん、動詞の形や単数・複数、冠詞にも気をつけなければ減点されてしまいます。問題と解答を照らし合わせて、どういった点に気をつけなければならなかったのかを確認しておきましょう。

●数学●

・中1選抜東大・医学部数学(1MJSS)

春期講習の確認テストでは、「知識を持っている」「正確な処理ができる」ということよりも、「読解力」(言葉や式の意味を正確に読み取る力)、「理解力」(意味を理解して自分なりに消化する力)、「活用力」(知識を組み合わせる新しい問題に活用できる力)といった点に重点をおいた問題でした。選抜クラスでは中学数学の知識を一つ一つ積み上げていくと共に、このような力に重点をおいて授業を進めていきます。

【1】は概ねよくできていました。ここで点数を大きく失ってしまった人は再度四則計算のルール(符号の処理、累乗の表し方)であやふやな所がないか確認しましょう。

【2】では「積が正」から「共に正」か「共に負」であることを導き、さらに「和が負」から「共に正」はないことを示すことがポイントでしたが、「積が12」以外の条件を見落としていたり、 $a - b$ ではなく a や b を求めていたりという答案もちらほらありました。正しい結論を示せるだけでなく、その理由を説明できることがこれからの数学では大切になります。

【3】ではまず「面積を使って説明している」ということを読み取ること、そして、 $(a - b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ という式を、面積で説明することが聞かれていることを理解することが必要でしたが、その意図を正しくくめていない答案が目立ちました。このような「読解力」は今後の数学の学習で常に問われる力です。そして、1辺が $a - b$ の正方形が現れるように図を書く必要があることを理解できれば、正解に近づけたはずで

す。

【4】は、算数で学んでいるはずの知識を振り返り、それらを組み合わせる力がポイントになりました。直角二等辺三角形や円の性質を単に知っている、覚えているだけでなく活用できる状態にしていくことが大切です。以上のような頭の使い方はこれから身につけて行けばよいものです。このようなことを意識しながら中学校の各単元をしっかりと学んでいきましょう。

・中1数学(1MJS)

今回のテストは新しく「文字」が入ったことによって、今まで受けてきた算数のテストとは趣向の異なる問題だったと思います。今何よりも必要なのは、自分がどこで間違えやすいのか、何を間違えてしまったのかを確認し、じっくりと復習することです。テストでどれだけ出来たかよりも、次に学習するときに間違わずに解けることを重視してください。

【2】・【3】・【4】の計算問題は概ねよくできていました。マイナス符号のつけ忘れや累乗計算でミスをした人は気を付けましょう。

これらの問題に比べるとやや出来が下がったのが【5】の記述式問題です。これは問題文から何が分かっていて、何を求めていくのかをまずは整理することが大切です。そして自分の考えをきちんと答案に書き表せるように訓練を積むようにしてください。今後文章題を解き進めていくうえで、重要な基礎力となっていきます。

4月からは本格的に数学がスタートしますが、まずはマイナスに慣れ、文字を使いこなす訓練を積みましょう！数学には今回のような「代数」と、図形を扱う「幾何」という分野があります。Z会の授業では代数と幾何を交互に扱っていき、幾何は5月に学習を開始します。代数も幾何も「記述」が大事になってきますので、しっかり練習し、数学の「記述」に慣れていきましょう。

数学の記述は国語のような記述と違い、ただ文章を連ねていけばいいわけではありませんのではじめは大変かもしれませんが、たくさん練習することで必ずできるようになります。頑張りましょう！